

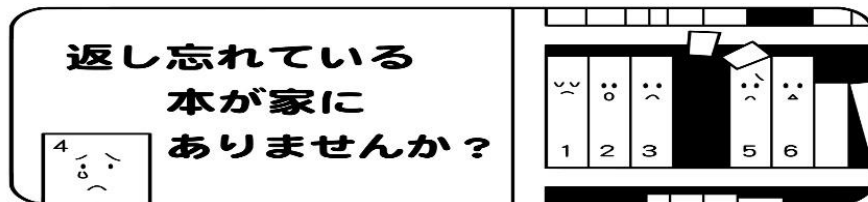


長い夏休みが終わりましたね。そろそろ「秋」の気配を感じられるかと思いきや、まだまだ暑い日が続いています。水分補給、休息をしっかりと取って乗り切りたいですね。美味しいものを食べて、体に栄養を与えることも大切ですが、素敵な本を読んで心にも栄養を…。

なかなかやる気が起こらないこの時期は、ぜひ涼しい図書室に足を運んでみてください。思わぬ本との出会いがあるかもしれませんよ！

読書が好きな人はもちろん、ちょっと苦手だな～という人も休み時間を利用して 1日5分からスタート！「読書」を生活の中に取り入れてみましょう。きっと世界が変わって見えてくるはずです。

新着図書もたくさん入ってきています。



夏休中に借りた本は、

9月11日(金)までに返しましょう！

9月生まれです！



よし だ しょういん
吉田松陰

よしだしょういん
吉田松陰

1830 - 1859

江戸時代後期の長州藩士であり、思想家・教育家として知られています。自らの信念を貫き、口先だけでなく、実際に行動する人であった松陰は、私塾「松下村塾（しょうかそんじゅく）」で、後の明治維新を主導する、高杉晋作・伊藤博文・山県有朋など多くの若者に影響を与えました。沢山の名言を残しており、その一つに「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。」があります。（1830年9月20日生まれ）

今月のおすすめ本



『おにのまつり』

天川 栄人:作 913 テ

「鬼の祭り」と言われる「うらじゃ」は岡山の夏の風物詩。先生に声をかけられて集った中学3年生の5名は、はじめはバラバラでした。しかし練習を重ね、一緒に温羅（うら）伝説について知るうちに、お互いの距離が縮まっています。

もがきながらも前に進もうとする姿に、とても心が打たれます。

『宙（そら）わたる教室』

伊予原 新:作 913 イ

東新宿高校定時制には、年齢もタイプも様々な生徒が通っています。理数系の科目を担当している担任の発案で結成された「科学部」は、「火星のクレーター」を再現する実験を始めました。様々な問題にぶつかりながらも、学ぶことを諦めず、探求心を持ち続けた彼らに奇跡が起こります。2024年にドラマ化もされた作品です。

『世界でいちばん素敵な神話教室』

蔵持 不三也:監修 164 セ

世界でいちばん素敵な教室シリーズです。神話は時代や国を超えて語り継がれてきた物語です。登場する神々や英雄の名前は、意外と多く知っているのではないのでしょうか。美しい写真とともに、神話について学ぶことができます。古に思いを馳せるのも、また一興ですね。

